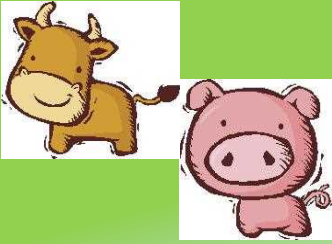


利根沼田家保だより2023



利根沼田農業事務所 家畜保健衛生課
(利根沼田家畜保健衛生所)
〒378-0031 沼田市薄根町 4412
電話 0278-24-3888



●高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に対する防疫対策の徹底について



今シーズン、12月21日までに近隣県の埼玉県や茨城県を含む4県4例のHPAIが発生しています。野鳥においても、関東各都県や新潟県などの近隣県を含む1都1道16県で72件（12月21日時点）の発生が認められており、本県においても環境中のウイルス濃度が非常に高まっていることが考えられます。

養鶏関係者の皆様には、飼養衛生管理基準の遵守徹底をしていただくとともに、特に発生予防対策を中心とした事項に留意してご対応いただくようお願いします。

・農場・鶏舎内へのウイルス侵入防止対策について

入出時対策

- 衛生管理区域又は家きん舎に立ち入る際の**長靴の交換・手指の消毒**
- 消毒や更衣前後で物や人の動きが**交差しない動線**
- 更衣場所でのすのこ等による**境界の明確化**

野生動物対策

- 農場内の整理整頓
- 堆肥舎、鶏糞搬出口等に**防鳥ネットを設置**
- 家きん舎の屋根や入気口に**野鳥避けを設置**
- 鶏舎の隙間を塞ぎ、野生動物の隠れ家になる天井裏等を**定期的に点検**



すのこ等による更衣前後の境界の明確化



鶏糞搬出口に設置された覆い



入気口における野鳥避けの設置

・まん延予防について-異常の早期発見・早期通報-

毎日の健康観察を入念に行い、異常を認めた際は速やかに家畜保健衛生所に届出をお願いします。



●R6 年度から BSE 検査対象が変わります

家畜伝染病予防法施行規則及び牛海綿状脳症対策特別措置法施行規則が改正され、令和 6 年 4 月 1 日以降に死亡した牛は、特定症状を呈する場合、BSE が否定できない症状（※）を呈する場合は検査対象となります。

詳細については、改めてお知らせします。

※一般的な理由（感染症、代謝性、外傷性、腫瘍性又は毒性の原因をいう。）では説明できないもの

産業廃棄物管理票（マニフェスト）の購入について

BSE 検査対象の変更に伴い、家畜衛生研究所を経由せず化成場へ搬入される死亡牛の増加が見込まれます。

（公社）群馬県畜産協会では、BSE 検査不要な死亡牛の処理に使用できる『畜産用マニフェスト』を販売しています。お手元にある伝票がなくなる前に、県畜産協会（TEL：027-220-2371）へ連絡し、購入してください。

価格：750 円／冊（代金引換サービス・別途手数料 290 円）

●家畜衛生研究所における年末年始の BSE 検査体制について



12 月				1 月			
28 日 (木)	29 日 (金)	30 日 (土)	31 日 (日)	1 日 (月)	2 日 (火)	3 日 (水)	4 日 (木)
受付	受付	休み	休み	休み	休み	休み	受付

※受付時間：9：00～16：00

BSE 検査対象牛について

令和 6 年 3 月 31 日までに死亡した牛は、これまで同様、以下の表のとおり BSE 検査が必要となりますのでご注意ください。



BSE検査対象牛	月齢問わず	48か月齢以上	96か月齢以上
通常の死亡牛	化製処理へ		
起立不能牛	(マニフェスト記入)	BSE検査対象牛(整理票記入)	
特定症状牛		BSE検査対象牛(整理票記入)	

●県央 CS での牛ウイルス性下痢（BVD）検査の実施

予定について

本県では BVD 対策として、県央クーラーステーションで集乳車の生乳を使った BVD ウイルス遺伝子検査を定期的実施しています。検査結果は群馬県牛乳販連を



通じて所属の酪農団体にお返ししています。今年度 7 月の検査では利根沼田管内から BVD ウイルスは検出されず、継続的にウイルスを排出する持続感染(PI)牛は摘発されませんでした。次回は 1 月中旬に実施予定です。今後も本症の早期発見のため、半年に 1 回の間隔で検査を継続していく予定です。

●牛のランピースキン病の韓国初症例を確認

韓国では、今年 10 月 19 日に初症例となるランピースキン病が確認されて以降、11 月 28 日までに牛飼養農家 107 件で発生が確認され、国内全飼養牛へのワクチン接種や制限区域の設定により防疫対応が実施されています。

この病気は、蚊、ハエ、ダニなどのベクターによる機械的伝播や、唾液等で汚染された飼料、飲水、器具を介して感染します。治療法は無く、万が一日本国内で発生した場合には早期の摘発淘汰が必要となります。

発生リスクをなくすために発生地域への渡航の自粛及び自農場で本病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ届出るようお願いいたします。

ランピースキン病の症状

皮膚の結節や水腫、発熱、抑うつ、リンパ節の肥大、粘膜の結節、鼻や目の出血、乳汁の減少、脚の腫れ、跛行など。泌乳ピーク期の乳牛や子牛で症状が重い（死亡例もある）。生産性低下・経済的被害大。



出展：WOAHウェブサイト (<https://www.woah.org/en/disease/lumpy-skin-disease/>)

FAOウェブサイト (http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos_2_.pdf)

●第 27 回群馬県畜産共進会の成績について



8 月から 10 月にかけて、第 27 回群馬県畜産共進会が開催されました。出品者の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

《繁殖和牛の部》

令和 5 年 10 月 16 日に群馬県畜産試験場で開催されました。利根沼田地域から 6 戸 15 頭の出品があり、出品したすべての部で当地域の牛が上位を収めました。

部別	入賞	名号	出品者
	名誉賞	ももこ2	片野嘉平 氏 (みなかみ町)
		ももこ2の4	
1	優等賞	あつだ373の2	高橋孝一 氏 (みなかみ町)
2	優等賞	ますわか	田村剛 氏 (みなかみ町)
3	優等賞	ももこ2の4	片野嘉平 氏 (みなかみ町)
4	優等賞	ひのゆりひめ61	片野嘉平 氏 (みなかみ町)
	優等賞	たけい3の4	武井賢一 氏 (沼田市)
5	優等賞	ももこ2	片野嘉平 氏 (みなかみ町)
7	優等賞	ももこ2	片野嘉平 氏 (みなかみ町)
		ももこ2の4	

※優等賞以上を掲載

《乳牛の部》

令和5年10月20日に群馬県畜産試験場で開催されました。利根沼田地域を代表して1戸1頭を出品していただきました。

部別	入賞	名号	出品者
10	1等賞	デコリアルバ - ティースマコト	(株)川田牧場 (川場村)

《山羊の部》

令和5年8月25日に渋川家畜市場で開催されました。利根沼田地域を代表して1戸5頭を出品していただきました。

部別	名号	出品者
1	おかや5-1	能登藤一郎 氏 (沼田市)
	おかや5-2	
3	岡谷5-1	
	岡谷5-2	
	岡谷5-3	

●野生いのししにおける豚熱検出状況



10月以降、県内野生いのししの豚熱陽性事例が増加しています。いのししの捕獲頭数も増加しているため、山林で感染拡大していることが危惧されます。ウイルスは、野生動物、車両、人、雨水等を介して環境中から農場へ持ち込まれますので、厳重に対策をお願いします。

【県内野生いのししの豚熱検査状況と陽性確認状況（R5.4.1～R5.12.7）】

捕獲地域	検査頭数	陽性頭数	陽性個体発見地域
沼田市	7	0	—
片品村	36	0	—
川場村	1	0	—
昭和村	3	0	—
みなかみ町	2	0	—
中部	143	7	前橋市、渋川市
西部	236	11	高崎市、富岡市
吾妻	199	2	長野原町
東部	191	1	太田市

【豚熱発生予防のために重要な対策】

重要!

- 豚舎内に豚舎専用長靴・衣服の設置
豚舎外にはウイルスがいると考えて、豚舎外作業で使う長靴や衣服のまま豚舎に入らない
- 豚舎に出入りする際の手指消毒または手袋着用
- 農場に進入する車両消毒の徹底
動力噴霧器を使ってタイヤハウスや泥除けの消毒徹底
- 豚の移動の際に消毒済みの通路やカゴを使用

●登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種について



農場の登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種が可能になってから間もなく1年になります。すでに登録飼養衛生管理者に登録している方については、1月と2月にフォローアップ研修（オンライン、対面）を予定していますので、ご都合の良い日程でご参加いただくようお願いします。詳細は近日中に畜産課から個別にお知らせが送付されますので、そちらをご確認ください。

また、この制度に興味がある方は当所までご連絡ください。登録時の研修等は、農場の都合に合わせて個別に開催可能ですので、いつでも始められます。

●LINE 公式アカウント「ぐんま『家畜衛生』情報」



への登録のお願い

群馬県では、日頃の飼養衛生管理について自己点検を行うための豚飼養者及び家畜飼養者向け LINE アプリを運用しています。本アプリは、豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生などの情報発信ツールとしても活用しています。

LINE 公式アカウント「ぐんま『家畜衛生』情報」にまだ登録をしていない飼養者の方はお早めに登録して頂きますようお願いいたします。

LINE 登録には、既に農場へ郵送した「農場 ID」が必要です。ID が不明の場合、家畜保健衛生所までご連絡下さい。

登録方法は、別紙を参照ください。

●冬季の消毒について

低温下では逆性石鹼の消毒効果が著しく低下します。常温と同等の効果を得るために、どの程度の濃度が必要か製品により異なるので、有効濃度を確認しましょう。

冬期は暖かい時期よりも濃い濃度 で使用してください。

(例：逆性石鹼 夏期 500 倍 冬期 200 倍 など)

消毒液が凍結してしまう場合は、ヒータによる加温のほか、不凍液の利用をおすすめします。消毒液への混合を目的とした畜産用不凍液も市販されていますが、ウインドウォッシャー液やアルコール系不凍液、酢酸系凍結防止剤なども使用できます。ウインドウォッシャー液は引火性があるため、火気には十分注意してください。また、主成分のメタノールには毒性や揮発性があります。

●令和5年度畜産 GAP 研修会動画の配信について

今年 8 月 31 日に開催された畜産 GAP 研修会の動画が群馬県「tsulunos」ウェブサイトに掲載中です。令和 6 年 3 月 31 日まで視聴可能ですので、畜産 GAP にご興味のある家畜飼養者や関係者の皆様はぜひご視聴ください。

詳細は別紙を参照ください。

●別添文書をご確認ください

- ・「ぐんま『家畜衛生』情報」操作マニュアル（豚飼養者用） ※豚飼養者、関係者のみ
- ・「ぐんま『家畜衛生』情報」操作マニュアル（家さん飼養者用） ※家さん飼養者、関係者のみ
- ・浅間牧場観光用展示牛(県有牛)の導入について ※牛飼養者、関係者のみ
- ・韓国におけるランピースキン病の発生状況
- ・韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況
- ・令和5年度国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況
- ・令和5年度畜産 GAP 研修会動画の配信について

◆既に廃業された方に本日よりが届きましたら、

お手数ですが当所までご一報下さい◆

利根沼田家畜保健衛生所

〒378-0031 沼田市薄根町4412

TEL 0278-24-3888 FAX 0278-24-3889

(夜間・休日の電話は転送されます。)

韓国におけるランピースキン病の発生状況 (2023年11月28日 14時時点)

江原道

- ・初発生日：10月23日
- ・発生件数：7件
- ・発生農場飼養頭数：235頭

仁川広域市

- ・初発生日：10月23日
- ・発生件数：9件
- ・発生農場飼養頭数：1,048頭

京畿道

- ・初発生日：10月20日
- ・発生件数：26件
- ・発生農場飼養頭数：1,971頭

忠清北道

- ・初発生日：10月22日
- ・発生件数：5件
- ・発生農場飼養頭数：133頭

忠清南道

- ・初発生日：10月19日
- ・発生件数：41件
- ・発生農場飼養頭数：1,915頭

全羅北道

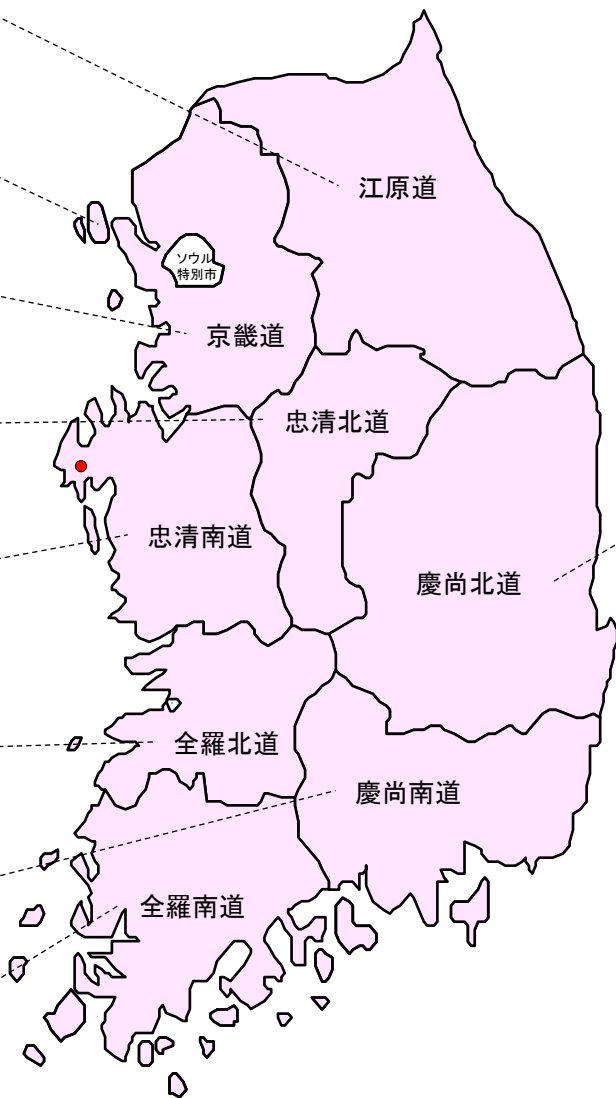
- ・初発生日：10月24日
- ・発生件数：14件
- ・発生農場飼養頭数：1,087頭

慶尚南道

- ・初発生日：10月30日
- ・発生件数：1件
- ・発生農場飼養頭数：29頭

全羅南道

- ・初発生日：10月28日
- ・発生件数：2件
- ・発生農場飼養頭数：178頭



	発生件数	発生農場飼養頭数
合計	107	6,691
韓牛農家	82	4,641
肉牛農家	2	288
乳牛農家	23	1,762

慶尚北道

- ・初発生日：11月13日
- ・発生件数：2件
- ・発生農場飼養頭数：95頭

韓国発生対策 (11月27日時点)

- (ワクチン接種)
- ・ 11月10日付で韓国国内で飼育中の全ての牛に対するワクチン接種を完了。
- (ベクターからの防除)
- ・ 農場内の吸血昆虫に対する防除の徹底を指導・周知。
- (移動制限)
- ・ 11月27日に全国の牛農場で牛の搬出入制限を解除。
 - ・ ただし、ワクチン接種後3週間が過ぎたことが農場主から管轄行政区に申告され、家畜防疫官の臨床検査で異常が確認されなかった牛の移動に限る。

● : 初報(1例目)地点

■ : 発生が確認された行政区画

農林水産省動物衛生課

濟州道

出典：韓国農林畜産食品部プレスリリース、報道情報

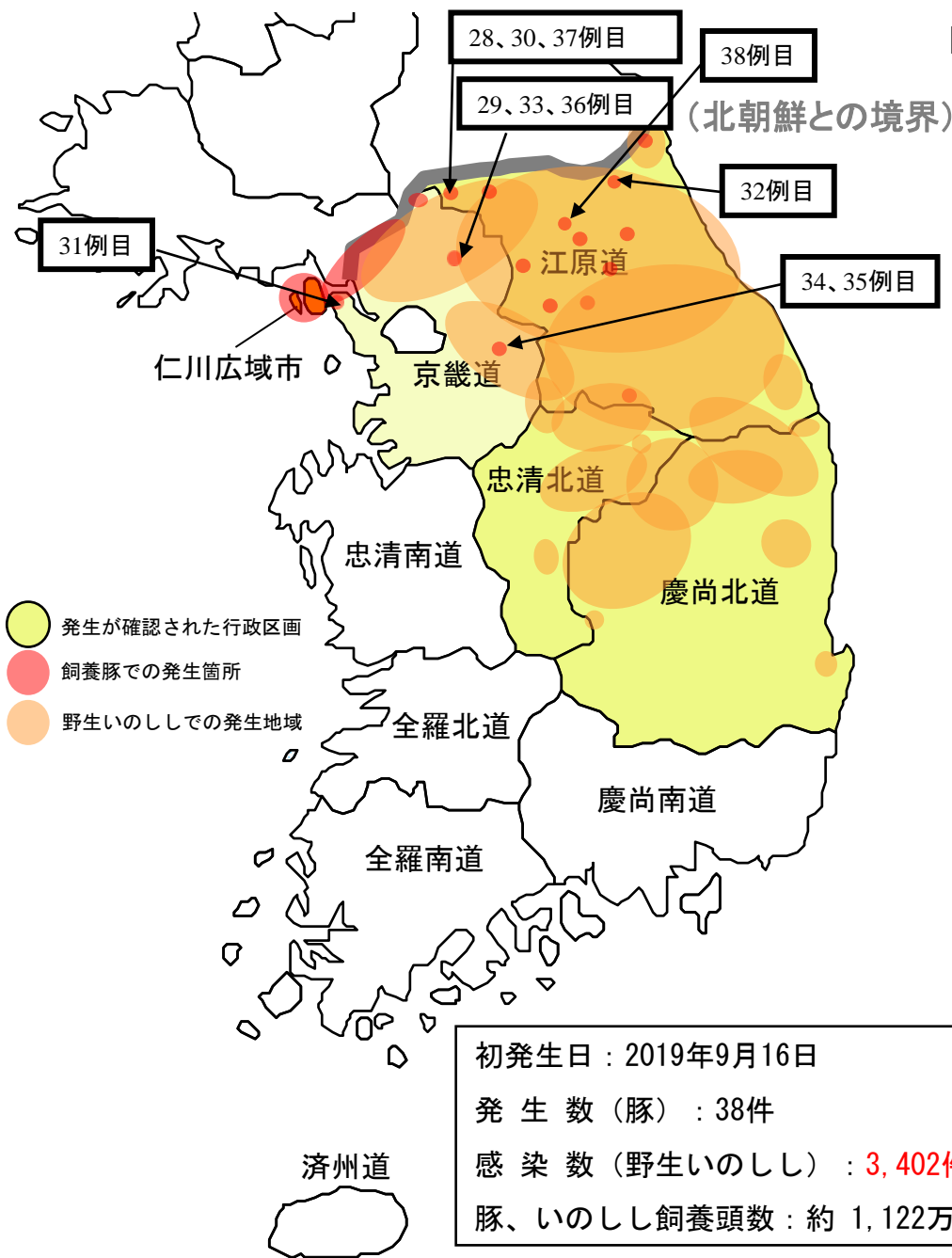
【飼養豚での事例】

事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原道鉄原郡
38	2023/9/25	江原道華川郡

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

2023年12月4日時点

【野生イノシシでの事例】(単位: 件)



京畿道	坡州市	100
	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
江原道	鉄原郡	37
	華川郡	426
	春川市	222
	楊口郡	81
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	243
	襄陽郡	36
	江陵市	110
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	東草市	1
	旌善郡	175
	横城郡	63
忠清北道	三陟市	97
	原州市	83
	太白市	19
	東海市	8
	丹陽郡	168
	堤川市	88
	報恩郡	73
慶尚北道	槐山郡	12
	陰城郡	1
	忠州市	101
	尚州市	76
	蔚珍郡	50
慶尚南道	聞慶市	64
	榮州市	11
	體泉郡	10
	奉化郡	52
	盈徳郡	46
	安東郡	14
	英陽郡	36
全羅北道	青松郡	38
	浦項市	8
合計		3,402

初発生日：2019年9月16日
 発生数(豚)：38件
 感染数(野生いのしし)：3,402件
 豚、いのしし飼養頭数：約 1,122万頭

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成
 飼養頭数：FAO統計(2021)による
 赤字は2023年11月27日からの更新箇所

令和5年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

○野鳥 18都道県72事例

※詳細は環境省HP参照 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 北海道美瑛市	10/4	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
2 北海道釧路市	10/18	ノスリ	H5N1	H5N1
3 北海道釧路市	10/26	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
4 宮城県大崎市	10/27	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
5 宮城県登米市	10/29	オオタカ	H5N1	H5N1
6 北海道別海町	10/25	タンチョウ	H5N1	H5N1
7 北海道厚岸町	10/31	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
8 鹿児島県出水市	11/6	環境試料(水)	H5N1	H5N1
9 鹿児島県出水市	11/11	オナガガモ	H5N1	H5N1
10 鹿児島県出水市	11/12	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
11 北海道標津町	11/6	タンチョウ	H5N1	H5N1
12 岡山県総社市	11/9	ツミ	H5N1	H5N1
13 北海道別海町	11/6	ハクチョウ	H5N1	H5N1
14 鹿児島県出水市	11/8	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
- 北海道釧路市	11/10	マガモ	LPAI	H5N3
15 鹿児島県出水市	11/13	環境試料(水)	H5N1	H5N1
16 岡山県倉敷市	11/13	オナガガモ	H5N1	H5N1
17 千葉県東金市	11/14	糞便(カモ類)	H5N1	H5N1
18 鳥取県鳥取市	11/9	野鳥糞便	H5N1	H5N1
19 鹿児島県出水市	11/19	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
20 北海道中標津町	11/11	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
21 北海道大樹町	11/13	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
22 北海道標茶町	11/14	タンチョウ	H5N1	H5N1
23 北海道別海町	11/15	タンチョウ	H5N1	H5N1
24 宮城県多賀城市	11/18	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
25 鹿児島県出水市	11/20	環境試料(水)	H5N1	H5N1
26 香川県東かがわ市	11/21	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
27 高知県高知市	11/21	ハヤブサ	H5N1	H5N1
28 北海道札幌市	11/24	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
29 鹿児島県出水市	11/24	コガモ	H5N1	H5N1
30 北海道浜頓別町	11/17	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
31 北海道別海町	11/19	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
32 北海道厚岸町	11/19	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
33 北海道湧別町	11/19	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
34 北海道標茶町	11/20	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
35 富山県魚津市	11/21	ヒドリガモ	H5N1	H5N1
36 北海道湧別町	11/21	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
37 北海道標津町	11/22	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
38 宮城県多賀城市	11/23	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
39 北海道むかわ町	11/22	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
40 北海道標茶町	11/24	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
41 鹿児島県出水市	11/27	環境試料(水)	H5N1	H5N1
42 鹿児島県出水市	11/28	ナベヅル	H5N1	H5N1
43 北海道斜里町	11/26	クマタカ	H5N1	H5N1
44 東京都千代田区	11/28	ノスリ	H5N1	H5N1
45 北海道函館市	11/28	ハシブトガラス	H5N1	H5N1

○家きん 4県4事例

(令和5年12月20日時点)

地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型
1 佐賀県鹿島市	11/25	採卵鶏	4万羽	H5N1
2 茨城県笠間市	11/27	採卵鶏	7.2万羽	H5N1
3 埼玉県毛呂山町	11/30	採卵鶏	4.5万羽	H5N1
4 鹿児島県出水市	12/3	採卵鶏	2.3万羽	H5N1

○飼養鳥 1県1事例

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 岐阜県海津市	11/23	タカ科	H5N1	H5N1

※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
46 佐賀県鹿島市	11/25	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
47 北海道中標津町	11/25	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
48 新潟県新発田市	11/28	コハクチョウ	H5N1	H5N1
49 北海道根室市	11/29	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
50 宮崎県日南市	11/30	オナガガモ	H5N1	H5N1
51 岐阜県神戸町	11/18	カルガモ	H5N1	H5N1
52 鹿児島県出水市	12/4	環境試料(水)	H5N1	H5N1
53 鹿児島県出水市	12/7	マナヅル	H5N1	H5N1
54 熊本県八代市	12/1	セグロカモメ	H5N1	H5N1
55 北海道釧路市	12/4	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
56 千葉県長柄町	12/5	糞便(カモ類)	H5N1	H5N1
57 鳥取県湯梨浜町	12/2	糞便(カモ類)	H5N1	H5N1
58 鹿児島県出水市	12/10	ナベヅル	H5N1	H5N1
59 北海道根室市	12/1	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
60 北海道別海町	12/4	オオハクチョウ	H5N1	H5N1
61 佐賀県佐賀市	12/6	ハヤブサ	H5N1	H5N6
62 北海道釧路市	12/7	ハシブトガラス	H5N1	H5N1
63 茨城県那珂市	12/7	キンクロハジロ	H5N1	H5N1
64 鹿児島県出水市	12/12	マナヅル	H5N1	H5N1
65 鹿児島県出水市	12/11	環境試料(水)	H5N1	H5N1
66 滋賀県米原市	12/12	糞便(カモ類)	H5N1	H5N1
67 北海道えりも町	12/11	ハシブトガラス	H5	H5
68 長崎県諫早市	12/12	ヒドリガモ	H5N1	H5
69 北海道広尾町	12/12	オジロワシ	H5N1	H5
70 北海道えりも町	12/13	ハシブトガラス	H5N1	H5
71 鹿児島県出水市	12/18	マナヅル	H5N1	H5N1
72 鹿児島県出水市	12/18	ナベヅル	H5N1	H5N1

● 家きん
★ 野鳥
■ 飼養鳥

